

# 池尻大橋駅周辺地区第4回交通バリアフリー推進懇談会

(平成18年12月11日)

## 1) 開催概要

日時：平成18年12月11日(金)午後6時30分～午後8時

場所：東京都大橋地区事務所

出席者：20名(一般参加者9名、目黒区職員9名、コンサルタント2名)

## 2) プログラム

1. 主催者挨拶
2. 池尻大橋駅周辺地区交通バリアフリー整備計画案の説明
3. その他
4. 閉会挨拶

## 3) 意見交換要旨(交通バリアフリー整備計画案について)

(・参加者 →目黒区)

・主要事業2の環6本線と支線の交差点に関する説明を再度お願いしたい。

→通学路となっており、生徒の滞留スペースが不足しているという意見があった。東京都第二建設事務所と協議し、植栽地を削るという方向になっている。車両用信号機の視認性に関しては公安委員会と調整中である。

・業者の車が常時停まっており、危ない。表示をしてほしい。

→歩道への駐車は違法である。表示等、指導をするよう東京都第二建設事務所に申し伝えたい。

・菅刈陸橋については、改良しないのか。

→前回も話したが、東京都第二建設事務所からは、構造改良は技術的に可能かもしれないが、コストがかかるので難しいということだった。

・人が多くなり、人の流れも変わるのではないのか。

→生活道路については事業メニューに含め、歩行者の移動の円滑化を図りたい。また、信号機の改良も行っていく。ただ、このバリアフリーの整備計画に菅刈陸橋の構造改良を盛り込むのは難しい。

・理由はなぜか。

→構造的に改良が簡単にできるというのではなく、莫大な金額がかかる。

・菅刈陸橋を整備する際に、目黒川に沿って行き来は想定していなかったのか。

→現在のような目黒川沿道の緑道利用は予測されなかったのだろう。

・246号線のデッキは以前と変更がないのか。渋谷のホテル前のデッキのように、屋根はつくのか。

→バリアフリーの基本的な考えかたでは、幅員の確保、エレベーターの設置ということになる。

→デザイン・形態については現在協議中であるが、シンプルなものがないのではないかと考えている。

・位置についてはどうか。

→まだ確定していない。国土交通省、東京都再開発事務所、接続を想定している民間ビルと協議中である。

・民間ビルから突き抜けて、図書館跡地へつなげれば、246号線両側の一体性も高まるのではないか。

→意見として承りたい。ただ、図書館跡地との間には、他の土地もあり、検討課題は多い。

・一旦、歩道に下りるよりも安全性が高まる。図書館跡地の活用方法は未定なのか。

→未定であり、色々な意見を伺いながら、目黒区としての考えかたを示していきたい。

・池尻大橋駅に急行へ停まらないため、一本電車を待つと人が溢れる。以前も意見を出したが、どうか。

→乗降客は確かに多く、東急電鉄でも検討はしているようだ。ラッシュ時に通勤急行を停車する等ということであれば、全くダメだということではないようである。他にも都立大等乗降客が多い駅で特急が停車しない駅もある。乗降客の多い駅全てに停車するとなれば、過密ダイヤがより過密になってしまう。

・青葉生命跡地等でも計画があり、人はさらに増える。安全対策上の停めて乗せた方がよい。

・地域として東急へ要望を出すのはどうか。

→それはいいことだ。

・三軒茶屋よりも池尻大橋の方が乗降客が多くなっていると聞いた。地元からも声をあげてことを考えたい。

・この会は各地域から出席する形をとっているのか？

→交通バリアフリーの整備計画は地元の皆さんとつくることになっている。ざっくばらんにということでジャンクションの会合を引き継ぎ懇談会形式で開催している。これまで、開発の協議が進む中で交通バリアフリーについても整理してきており、今後も一体で進めていきたい。

・主要事業4の周辺道路とは外周ということか。

→外周道路で幅2mに満たない歩道については広げていきたい。

・バリアフリーとは別の会合で話したが、氷川神社横の一方通へ246号から逆走して進入する車が時々ある。

→池尻大橋駅周辺地区では、緑が丘駅周辺地区とともに1月に事業者間の協議会を開催し、内容を最終確認した上で平成18年度中に策定したいと考えている。

12月25日から1月19日までパブリックコメントで意見を募集しているので、FAXや手紙等で寄せていただきたい。

#### 4) 意見交換要旨（大橋一丁目地区整備計画について）

・まとまるのはいつか。

→2月に案を示し、3月末に正式決定したい。

・プラン17の駐輪場整備は、ジャンクションに150、目黒川に500台ということだが、月極めとなるのか。

→現在の目黒川の自転車置場は仮設的なもので年度登録3,000円/年であるが、今後は恒久的な施設となる。他の恒久的な駐輪場は2,000円/月~2,500円/月で、同じ程度になるだろう。

ジャンクション内部に設置するものも恒久的な施設で似たような料金体系になると思われるが、余裕があれば一日利用も考えたい。ジャンクション内は1台1台機械設備とし、目黒川の方は入口で管理する方式になるだろう。

・246号沿いのスーパー前に自転車が多い。買い物に来た人の一時利用も考える必要があるのではないか。

→通勤・通学者の自転車置場を考慮しておかないと、長時間放置されることになる。通勤・通学の駅利用の場合と買い物の場合の両方を考えたい。

・今現在ほどの程度の台数なのか。

→500台収容できるが、登録は受け付けている。

・植栽を減らすということだが。

→目黒川上部を緑道にするため、自転車置場の移設が必要となる。

・登録を受け付けているということだが、駅利用者等にアピールはしないのか。区報を見ない人も多い。

→池尻大橋駅ではまだ実施していない。一番早いのは、撤去した際に案内することである。

・通勤・通学で駅まで自転車を利用するケースが多いが、鉄道事業者とは協議していないのか。

→用地が確保できないということであった。啓発に協力はしていただけるということだ。

・バイクは何台置けるのか？

→現在と同じ台数は確保したい。ただし、条例の対象は50CC以下の原付と自転車のみで、大型バイクは対象としていない。今後、ジャンクション内部に自動二輪も駐車できるよう、警察からも要望を出してもらっている。

・目黒川の246号から万代橋側については、蓋はかけないのか。

→大橋から上流は下水道幹線、下流は河川として考えている。

## 5) 当日の様子



以上